

東京都医師会主催

高齢社会における運転技能・運転環境シンポジウム

# ～高齢ドライバーが安心・安全に運転できる 社会を実現するために～

超高齢社会を迎え、高齢ドライバーによる高速道路の逆走や交通事故のニュースや新聞をよく目にします。加齢に伴い、認知機能や身体機能および視機能が低下することで、安全運転に必要な行動ができなくなります。

警察庁では、運転に不安を感じている高齢ドライバーに対し免許の自主返納を呼びかけていますが、運転をやめた高齢者は、運転を続けている高齢者と比較して要介護状態になるリスクが約8倍、認知症になるリスクが2～3倍という調査報告もあります。

東京都医師会では、高齢者の運転寿命（安全に運転できる期間）を延ばすことは、健康寿命の延伸や要介護状態、認知症、フレイルなどの予防に大きく寄与する可能性があり、高齢者が可能な限り安心・安全に運転できる社会を目指します。

日時

令和7年5月17日（土）

14:00～16:00（13:30配信開始予定）

形式

オンライン配信：Cisco Webex

対象

医師、医療従事者、一般の方

取得  
単位

日本医師会生涯教育制度 合計1単位  
【カリキュラムコード：4, 36】

参加費  
無料

事前申込制

特別講演では、国内外のレースで数々の輝かしい成績を収めた「ミスター・ル・マン」ことレーシングドライバーの寺田陽次郎さんによる講演を予定しております。70歳を超えても現役で走り続ける寺田さん。年齢を重ねるごとに、体力や反応速度の衰えが懸念される中でも、日々のトレーニングや技術の向上に努め、今なお挑戦し続けています。



レーシングドライバー  
寺田 陽次郎 氏

プログラム・申込方法は裏面をご覧ください



公益社団法人 東京都医師会

14:00 開会挨拶 平川 博之（東京都医師会副会長）

14:05 特別講演「レーシングドライバーから見た高齢者運転の今後について」（20分）  
寺田 陽次郎（レーシングドライバー）

< 質疑応答 >

14:30～15:55

講演 1「高齢ドライバーの事故と予防」（20分）

小菅 英恵（(公財)交通事故総合分析センター 研究部 研究第一課 主任研究員）

講演 2「高齢ドライバーの安全ゆとり運転」（30分） CC:4：0.5単位

松浦 常夫（実践女子大学 名誉教授）

講演 3「視野障害と自動車運転～運転寿命の延伸のためにできること～」

國松 志保（西葛西・井上眼科病院 副院長）（30分） CC:36：0.5単位

< 質疑応答 >

15:55 閉会挨拶 西田 伸一（東京都医師会理事）



## 申込方法

①日本医師会生涯教育制度の単位を希望される医師

東京都医師会HP内「[研修申込システム](#)」よりお申込ください。

URL：<https://study.tokyo.med.or.jp/publish/Login>



申込  
方法

②一般の方、日本医師会生涯教育制度の単位を希望されない医師

「[Googleフォーム](#)」よりお申し込みください。

URL：<https://forms.gle/hn7SmH7ph4Cmq1eo9>

後日、メールアドレスに受講案内メールをお送りします。



申込  
期限

令和7年5月13日（火）迄

問合せ

（公社）東京都医師会 医療介護福祉課

TEL：03-3294-8835（直通）

Mail：[iryofukushi@tokyo.med.or.jp](mailto:iryofukushi@tokyo.med.or.jp)

HP：<https://www.tokyo.med.or.jp/>